



新型コロナウイルス感染症の 影響に関する開示例（その4）

株式会社東京証券取引所 上場部

2020年6月24日

「新型コロナウイルスによる影響と連結業績予想についてのお知らせ」
(2020年5月25日開示) ※抜粋

当社は、2020年5月14日に発表した決算短信において、新型コロナウイルス感染症防止のための外出自粛期間が不明であったため、2021年3月期連結業績予想について発表を見送らせていただきました。

5月21日首都圏・北海道を除く緊急事態宣言の解除が発表されたことを受けまして、現在の営業状況および外出自粛期間における影響についてお伝えいたします。

記

1. 現在の営業状況

2020年4月1日～5月22日の期間、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の低下は発生しておりません。指定プレカット工場との連携強化により、資材不足等の影響を回避し、予定通りの操業を行いました。工事中の資材搬入・現場進捗に対する新型コロナウイルス感染症による遅延は発生しておりません。

2. 今後の決算に対する影響について

ハウスメーカー・工務店各社は、2020年3月末より、住宅展示場（モデルハウス）を一部閉鎖しました。結果、集客数は前年度比で20%程度の来場者数となっている現状を確認しております。

したがって、新型コロナウイルス感染防止策による住宅販売への影響は、展示場閉鎖期間（60日間と仮定）の契約が前年度20%程度になると算出、住宅業界における自粛期間の集客不足によるマイナス効果は、年率13.4%（ $1040 \div 12$ ）程度と判断しており、その影響が、今後発生する可能性があることを予想しています。

3. 当社の影響軽減に対する対応
(略)

4. 売上高に影響が発生する時期について

集客数の減少が売上高に影響を与える時期は、当社KPI データによると、来場→契約75日、契約→着工・上棟（当社の売上発生時期）75日となっており、売上高への影響は150日後と算定しております。

集客の低下は、2020年9月より売上高に対する影響が予想されます。

5. 連結業績予想の発表について

建築関連業界における、コロナウイルスによる景気減退の効果（買い控えなど）を推測するに至っておらず、正確な予測を発表することを控えさせていただいております。

緊急事態宣言解除後、速やかに決算予測を作成し、第一四半期決算短信発表時の8月14日までに発表する予定です。

- ▶ 決算発表時に業績予想を「未定」とした中において、足元の状況や今後見込まれる影響について追加的に開示
- ▶ 緊急事態宣言解除後における業績予想の公表予定に言及

「2021年3月期 第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」(2020年6月1日開示) ※抜粋

1. 業績予想について

2021年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

(略)

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円銭 -
今回発表予想(B)	16,853	2,300	2,318	1,546	137.08
増減額(B-A)	-	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	15,489	2,106	2,168	1,483	131.49

2. 公表の理由

2021年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を合理的に算定することが困難として未定としておりましたが、緊急事態宣言が解除され経済活動が再開しつつあることから、当社グループに関連する経済活動が新型コロナウイルスの影響により停滞する期間を6月までとする前提のもと、連結業績予想を公表するものであります。(略)

各事業における今期の見通しは、以下のとおりであります。

(略)

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、前期に引き続き、卒FIT案件の増加により市場の拡大が見込まれる蓄電池の販売を推進してまいりますが、新型コロナウイルスの影響により大型商業施設の多くに臨時休業が広がったことにより、4～5月度の催事販売の回数は3月度の6～7割に減少し、大型商業施設から中規模小売店舗へと催事規模を縮小したため、受注が減少しております。

大型商業施設の営業再開により今後は催事回数の増加が見込まれますが、4月度から6月度までの催事開催数は通常の7割程度、1催事当たりの受注は通常の5割程度を見込み、7月度以降は徐々に回復し、第3四半期の途中から通常の催事回数と受注の水準へ回復することを見込んでおります。

なお、住宅メーカー等と業務提携を行いその顧客基盤を活用して販売を行う提携販売については、新型コロナウイルスの影響は軽微であります。(略) 上記より、スマートハウスプロジェクト事業の業績につきましては、催事販売減少の影響により、売上高は3,673百万円(前期比6.4%減)、セグメント利益は281百万円(前期比21.8%減)を見込んでおります。

小売電気事業につきましては、2019中期経営計画のとおり月間500口の契約純増を見込んでおります。(略) 小売電気事業に対する新型コロナウイルスの影響につきましては、経済活動の低下による電力消費量の減少が売上高の減少につながる一方、電力需要の減少が電力調達価格の低下をもたらすことで利益率の向上につながる影響も考えられますが、顧客層の負荷率(最大電力に対する平均電力の比率)平均が9%と低く消費電力量の規模が相対的に小さいため、結果的に影響は軽微となっております。 上記より、小売電気事業の売上高は8,523百万円(前期比19.8%増)、セグメント利益は1,219百万円(前期比10.5%減)を見込んでおります。

- 経済活動の再開を踏まえ、決算発表時に「未定」としていた業績予想を公表
- 前提としている感染症の影響期間や程度、根拠について事業セグメント別に説明

「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」（2020年6月9日開示）※抜粋

1. 業績及び配当予想の修正について

(1) 2020年12月期第2四半期（累計）連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

（略）

(2) 2020年12月期通期連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A) (2020年4月16日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円銭 —
今回予想 (B)	187,000	15,000	14,500	10,500	248.89
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	200,241	20,916	20,518	15,481	367.09

2. 業績および配当予想公表に至る背景

2020年12月期連結業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴う環境変化が、当社グループに与える影響がきわめて不透明であり、業績予想の算定が困難な状況であることから、4月16日に取り下げ、未定としていました。

この度、各国における行動制限措置の緩和等を受け、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて当社グループ各社の影響を集計・予測し、公表することといたしました。（略）

3. 今後の見通し

（略）

通期連結売上高187,000百万円(前期比 6.6%減)

[第2四半期（累計）連結売上高84,000百万円（前年同期比8.3%減）]

自動車計測システム機器部門、環境・プロセスシステム機器部門、科学システム機器部門においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、ヒト・モノの移動に影響が生じており、製品の出荷・検収の遅れが発生する可能性があります。また、自動車産業やエネルギー産業をはじめとする市場の低迷に伴う影響を受けることから、販売減少を見込んでいます。

医用システム機器部門では、足元では新型コロナウイルス感染症拡大による一般患者数の減少により、病院での検査数の減少が予想され、販売減少を見込んでいます。

一方、半導体システム機器部門は、半導体メーカーの投資が回復基調にあるとともに、テレワークやデジタルビジネスの拡大に伴う半導体の需要増加も見込まれ、半導体製造装置メーカー向けの受注・販売は堅調に推移するものと予想されます。

この結果、第2四半期（累計）連結売上高は84,000百万円と、前年同期比7,607百万円の減収となり、通期連結売上高は187,000百万円と、前期比13,241百万円の減収となる見通しです。

（略）

補足情報

2. 連結セグメント別業績

売 上 高	2019/12実績		単位:百万円			
	2020/12予想		対前年同期増減		2020/12予想	
	上期	通期	上期	金額	通期	金額
自 動 車	34,381	81,042	26,500	△7,881	68,000	△13,042
環 境 ・ プ ロ セ ス	9,161	19,500	8,500	△661	17,500	△2,000
医 用	12,667	25,335	11,000	△1,667	23,000	△2,335
半 導 体	22,705	47,191	26,000	+3,294	52,500	+5,308
科 学	12,691	27,170	12,000	△691	26,000	△1,170
Total	91,607	200,241	84,000	△7,607	187,000	△13,241

営 業 利 益	2019/12実績		単位:百万円			
	2020/12予想		対前年同期増減		2020/12予想	
	上期	通期	上期	金額	通期	金額
自 動 車	1,599	6,454	△1,300	△2,899	500	△5,954
環 境 ・ プ ロ セ ス	663	1,697	200	△463	500	△1,197
医 用	709	1,302	100	△609	200	△1,102
半 導 体	5,399	10,727	6,500	+1,100	13,500	+2,772
科 学	△90	734	—	+90	300	△434
Total	8,282	20,916	5,500	△2,782	15,000	△5,916

（以下略）

- 各国の行動制限措置の緩和等を踏まえ、4月に取り下げていた業績予想を公表
- 事業セグメント別の予想値を開示し、各事業において見込む感染症の影響に言及

「2020年10月期数値速報 4月度」(2020年5月18日開示) ※抜粋

月次動向

4月のタイムズパーキングにつきましては、3月に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う各自治体からの外出自粛要請や政府からの緊急事態宣言の発令に伴う移動の減少等の影響により、駐車場の稼働が低調だったため、売上高前年同月比は67.8%となりました。

また、4月の週ごとの売上高前年同週比は、1週目(3/30週)80.6%、2週目(4/6週=7日に7都府県に緊急事態宣言発令)67.9%、3週目(4/13週=16日に緊急事態宣言が全国に拡大)63.2%、4週目(4/20週)58.5%、5週目(4/27週)58.7%となっております。(略)

パーク24グループ 事業概況

駐車場事業国内

■総駐車場数

□件数	(件)						
	'19/10	'19/11	'19/12	'20/01	'20/02	'20/03	'20/04
合計	20,337	20,425	20,552	20,613	20,681	20,681	20,807
直営駐車場	19,019	19,109	19,229	19,289	19,361	19,398	19,553
タイムズパーキング	18,908	18,998	19,117	19,177	19,247	19,289	19,442
月極駐車場	2,052	2,070	2,084	2,097	2,105	2,098	2,125
内併設	1,941	1,959	1,972	1,985	1,991	1,989	2,014
管理受託駐車場	1,318	1,316	1,323	1,324	1,320	1,283	1,254
時間貸駐車場	907	905	907	906	901	867	841
月極駐車場	458	458	463	465	466	463	460
内併設	47	47	47	47	47	47	47

□台数

	(台)						
	'19/10	'19/11	'19/12	'20/01	'20/02	'20/03	'20/04
合計	755,809	760,695	764,101	765,099	765,890	762,935	764,857
直営駐車場	639,502	644,463	646,922	648,278	649,111	646,746	651,536
タイムズパーキング	604,413	609,061	611,555	612,776	613,216	611,734	616,095
月極駐車場	35,089	35,402	35,367	35,502	35,895	35,012	35,441
管理受託駐車場	116,307	116,232	117,179	116,821	116,779	116,189	113,321
時間貸駐車場	92,367	92,375	92,892	92,467	92,446	92,003	89,298
月極駐車場	23,940	23,857	24,287	24,354	24,333	24,186	24,023

(以下略)

➤ 月次速報値の開示において、緊急事態宣言の発令等の環境変化を受けた月次・週次の業績動向を説明

➤ 経済活動の再開や足元の業績推移を踏まえ、公表済みの業績予想を修正

➤ 前提としている感染症の影響額や算出方法を明示

「2020年10月期第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」(2020年6月15日開示) ※抜粋

2. 2020年10月期通期連結業績予想の修正(2019年11月1日~2020年10月31日)

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益又は損失	経常利益又は損失	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は損失	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 333,000	百万円 26,700	百万円 25,500	百万円 16,500	円銭 106.73
今回修正予想 (B)	263,000	△24,200	△25,000	△25,500	△164.94
増減額 (B-A)	△70,000	△50,900	△50,500	△42,000	△271.67
増減率 (%)	△21.0%	△190.6%	△198.0%	△254.5%	△254.5%
(ご参考) 前期実績 (2019年10月期)	317,438	22,322	21,566	12,348	79.79

(2) 修正の理由

(略)

今期の業績予想につきましては、感染症拡大の第2波への警戒が高まる中、駐車場やモビリティサービスの需要回復時期の予測は極めて困難ではありますが、足元の業績推移をもとに、以下に記載の下期6か月間の仮定条件に基づく感染症影響額を試算し、当初の業績予想に上期は実績を反映、下期は当該影響額を加味する方法で算出しました。(略)

[試算における仮定条件]

売上高 ・感染症拡大による影響で通期約700億円減少
 ・下期、5月は実績(海外は4月実績)で当初予想比約50%、6月以降は経過月ごとに約5-10%で回復、当期末の10月は同約85%を見込む
 営業費用 ・売上高減少に伴う費用の減少(変動費分)や、各事業における運用の効率化等を図ると同時に、社内における経費削減を強力に推進することにより約190億円減少。

(以下略)